

## シンポジウム「自然治癒力と自然免疫」を開催しました。

日 時 2013年3月27日(水) 13:00~17:10

場 所 笹川記念会館(東京都港区三田3-12-12)

高齢化がますます進行する中で、「病気になってからの治療」という受身の姿勢ではなく「健康長寿の追求」と「治療から予防」への転換が求められております。

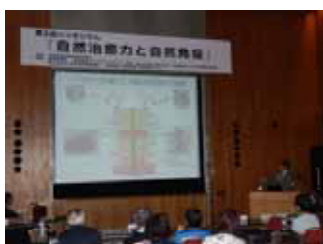
こうしたパラダイムシフトの動きなどを踏まえ、「自然免疫制御技術研究組合」では、2011年11月の第1回シンポジウムに続いて、3月27日、『自然治癒力と自然免疫』というテーマで第2回シンポジウムを開催いたしました。

当日は、東京理科大学薬学部教授・寺田弘氏を座長として、東京大学医科学研究所教授・三宅健介氏による自然免疫メカニズムの最先端科学、香川大学医学部客員准教授・稲川裕之氏による自然免疫活性化の有用性、社会福祉法人老人ホーム同和園附属診療所所長・中村仁一氏による自然死を見つめてきた同氏の死生観についてご講演があり、最後に座長と講演者全員によるパネルディスカッションが行われました。会場には100名を超える参加者が集まり、パネルディスカッションではフロアからも活発な質問が寄せられるなど、充実したシンポジウムとなりました。

ご参加の皆様、関係者の皆様におかれましては、ご多忙のところご来場いただき、誠に有り難うございました。



座長(寺田氏)



講演の様子(三宅氏)



講演の様子(稲川氏)



講演の様子(中村氏)



講演の様子(全体)



パネルディスカッションの様子